

2024年4月1日

お取引先の皆様へ

千葉西部生コンクリート協同組合

理事長 柳内光子



完全週休二日制導入の検討開始について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、政府の推進する働き方改革の取り組みを踏まえ、完全週休二日制の導入が全産業界に広がっています。

建設業界においては、本年4月から時間外労働上限規制が適用され、原則として月45時間、年360時間を超える時間外労働ができなくなります。

日本建設業連合会は、建設業の働き方改革に向けて、全ての関係者が週休二日の確保などにより工期の適正化に取り組むことの申し合わせがなされ、民間建築を対象とした「適正工期確保宣言」を行いました。

生コン業界も、従業員の高齢化が進行しており、このままでは人材の新陳代謝が停滞し、事業継続が危うくなりかねない状況となっています。他の業種に比べて週休二日制の導入が大きく遅れていることが若手社員の採用が進まない一因となっています。

このような状況のもと、当協組では、組合員各社の職場環境の改善および人材の確保を図るため、2025年4月を目途に完全週休二日制の導入を検討してまいります。

業界をとりまく環境の変化に対応し、ライフスタイルなど従業員の視点に立ち働きやすい環境を整えると共に、お取引先の皆様へ最善のサービスが提供できるよう今後も取り組んでまいります。

諸般の事情をご勘案の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具